

川上ダム通信

2018
1
月号



Vol. 148
Since 2005

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。平素から川上ダム建設事業に対しご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、7月に九州北部豪雨で甚大な被害が発生しました。豪雨のあった朝倉市では水資源機構が管理する寺内ダムが洪水を溜め込み、ダム下流の洪水被害を軽減しました。

また伊賀地区においても10月には台風21号の接近により伊賀市全域で避難勧告が出され、上野遊水地が初稼働するなど大きな出水となりました。

この台風21号の接近においても当機構の青蓮寺ダム、比奈知ダム、室生ダム等の操作により下流名張川等の河川水位を低下させました。仮に川上ダムが完成していれば木津川の水位低減効果を発揮していたと想定されます。豪雨の頻発を目の当たりにし、川上ダムの早期完成に向けよりいっそう決意を新たにしたところです。

川上ダム建設事業は、長年の皆様のご支援のもと、昨年9月に、「本体建設工事」の契約を締結することができました。また、11月には付替県道青山美杉線の工事がすべて完了し、全線を供用することができ、通行の利便性は大きく向上したと考えています。

今年は、いよいよダム本体工事に着手することになります。まずは前深瀬川の河川水を切り替える工事に着手します。その後、今年の秋頃からはダム本体を築造する場所で固い岩盤まで掘削する工事を行います。その際には、まずは安全に、周辺環境にも十分配慮し施工していきます。職員一同、愚直に業務に取り組み、平成34年度のダム事業の完成に向け、計画的な進捗を図ってまいります。

この川上ダム建設事業を進めるにあたっては、川上ダムが将来にわたり地域の皆様方にご活用いただける資産となるよう、皆様と連携・協働しながら、この地域を盛り上げ、魅力あるダムづくりを進めてまいりたいと思います。最後になりましたが、この一年の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【所長 北牧正之】



本年もよろしくお願いいたします

～暴排協議会第2回総会を開催～

12月18日（月）、川上ダム建設所において「川上ダム建設事業に係る暴力的不当要求行為等排除協議会（以下、「協議会」という。）」第2回総会を開催しました。

この協議会は、事業者である当建設所及び川上ダム建設事業に係る全ての受注者が会員になり、警察等との緊密な連帯によりダム建設事業の円滑な推進と地域の安全を確保することを目的に平成29年5月に設立し、運営しているものです。

このたび、設立時には空席であったダム本体工事受注者の代表を協議会の副会長に迎え、伊賀市の澤田青山支所長をはじめ警察関係者、受注者を合わせて四十数名の皆様にご出席いただき総会を開催いたしました。総会では、協議会会長である当建設所の北牧所長が「当建設事業から暴力的不当要求行為等を無くすため、皆様と力を合わせて取り組んでまいります。」と述べ、顧問の名張警察署の後藤署長からは「警察は、工事関係者等と緊密に連帯して不当要求行為等の排除に取り組みます。」と、力強いお言葉をいただきました。総会の最後は、ダム本体工事受注者代表の副会長（大林・佐藤・日本国土特定建設工事共同企業体工事事務所の中尾所長）からの決意表明で締めくくりました。総会后には、「不当要求防止責任者講習」を実施しました。

最後になりましたが、ダム事業関係者で力を合わせ、川上ダム建設事業から一切の不当要求行為等を排除することを誓います。

【総務課 大西誉朗】



暴排協議会総会の様子

先例ダムの勉強をしてきました～内ヶ谷ダム視察～

11月20日（月）に重力式コンクリートダムの先例として、川上ダム建設所から6名が、岐阜県郡上市に建設中の内ヶ谷ダム（事業者：岐阜県）の視察に行っていました。入社一年目の筆者も勉強のため同行しましたのでご報告いたします。

内ヶ谷ダムと川上ダムを比較してみると、堤高（ダムの高さ）はほぼ同じです。内ヶ谷ダムは現在ダムサイトの基礎掘削を行っている状況でした。基礎掘削とは、ダムの基礎地盤（ダムの重さを支える土台となる地盤）を露出させるため、河床や堤体側面を掘削し、弱い岩盤やゴミ・泥などを取り除く工事です。

	内ヶ谷ダム	川上ダム
事業者	岐阜県	水資源機構
堤高(m)	84.2	84.0
堤頂長(m)	270.0	334.0
堤体積(m ³)	約33	45.6
総貯水容量(万m ³)	1,150	3,100
有効貯水容量(万m ³)	910	2,920
集水面積(km ²)	39.9	54.7
湛水面積(km ²)	0.46	1.04

川上ダムとの比較



とても大きな施設で迫力がありました

現地では左岸天端からの基礎掘削状況や、さらには実際に作業が行われているダム底まで入って間近で見学させてもらうこともできました。特にダム堤体に使用するコンクリート骨材を製造する施設（左写真）は初めて見たため、とても新鮮で興味深く、質疑応答をしながら理解を深めることができました。

川上ダムは、今年の秋頃から基礎掘削に着手する予定で工事を進めています。今回の内ヶ谷ダムの見学は、少し先の川上ダムの将来を見ているようで、イメージを膨らますことができました。

この経験を、川上ダムの建設に自分なりに活かしていきたいと思えます。

【調査設計課 赤尾大樹】

ダム業務・工事監督実地研修に参加しました

11月6日（月）から11月10日（金）までの5日間にわたり、福岡県朝倉市の朝倉総合事業所（小石原川ダム建設事業）で行われたダム業務・工事監督実地研修に参加してきました。

本研修は、水資源機構の若手を中心とした職員の人材育成に関する取組みの一環として、小石原川ダム建設現場をフィールドに、「ダム施工技術」及び「工事監督」に関する技術力の向上を目的として実施するものです。

小石原川ダムでは、現在ロックフィルダム本体の工事と付替道路工事、導水トンネル工事等を行っており、数多くの現場でダム施工や工事監督を行う上での留意点等を学ぶことができました。また、座学でもフィルダムの設計や施工計画の考え方等について勉強しました。

小石原川ダムは施工規模が大きく、様々な種類の工事を行っているため学ぶべきことが多々あり、筆者にとって非常に有意義な研修となりました。

今回の研修で学んだダムの施工計画や工事監督を行う上での留意点等を活かし、正しく監督等行うことで、より良い川上ダムが完成できるように取り組んでまいります。

【工事課 河野将大】



ダムサイトの施工状況

風になって忍者の里をかけぬけるはずが、



11月26日（日）、2017 忍者の里伊賀上野シティマラソンが開催され、約2600名の参加者が、秋の伊賀路を駆け抜けました。当建設所からは、北牧所長をはじめとした6名が10km、1名がハーフマラソンに参加しました。

当日の天候は晴れ、気温が5.6℃(午前10時時点)と、絶好のマラソン日和でした。また、コースは伊賀上野城が眺望でき、城下町と田園地帯を走るほぼ平坦なもので、景色も素晴らしいものでした。

筆者は10kmに参加したのですが、7kmくらいから息が続かず、歩いてしまうこともありました。特に、コースの最後には急な登り坂があり、筆者を含めほとんどの人が歩いていました。しかし、沿道の皆様の声援のおかげで、最後まであきらめずに10kmを走り切ることができました。ちなみに、10kmの制限時間を11秒超過してしまい、ほろ苦い10kmマラソンデビューとなりました。次回参加時はタイムを縮めて時間内にゴールしたいと思います。

また、今年から200円分の土符（クーポン券）が配布され、走った後も伊賀市を満喫することができました。サブタイトルのように「風になって忍者の里をかけぬける」ことはできませんでしたが、秋風を感じながら走ることができ、とても心地よかったです。

最後になりますが、運営スタッフの皆様や、応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。

【総務課 関澤佳晃】



全員完走できました！

ダム建設功績者表彰!!

11月27日(月)、東京都千代田区九段において、第37回ダム建設功績者表彰式が開催されました。

本表彰は、毎年度、一般財団法人日本ダム協会により、ダム建設において特に顕著な功績が認められた個人及び団体に与えられる大変名誉な賞であり、今年度の表彰は全国で33名、5団体が受賞され、このうち用地関係においてダム建設の促進に著しく功績のあった方として、川上ダム対策委員会協議会代表の古川喜道氏が受賞され、同日都内の会場において行われた表彰式に臨まれました。



受賞者代表で謝辞を述べる古川代表



授与された表彰メダルを手にする古川代表

式典では、日本ダム協会の宮本洋一会長より表彰状の授与が行われ、来賓等の祝辞の後、受賞者を代表して古川代表が謝辞を述べられました。謝辞のなかで、約半世紀という非常に長きに亘るダム建設を振り返り、昼夜を問わず繰り返された補償基準の妥結交渉や墓地の改葬作業など、当時の暗く辛い思い出の一方で、地元が徐々にひとつになっていく姿に感動を覚えたエピソードなどが語られ、参加者が熱心に耳を傾けていました。

古川代表におかれましては、これまでのダム建設に対するご尽力に改めて感謝を申し上げますとともに、引き続き事業の推進にご支援ご協力をお願い申し上げます。

【第二用地課 桐山竜二】

本誌に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課

TEL 0595-52-1661 Mail somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

イベントのお知らせ

大村神社初詣

開催日 平成30年1月1日(祝)～
平成30年1月7日(日)
問合せ先 大村神社
0595-52-1050

敢国神社初詣

開催日 平成30年1月1日(祝)～
平成30年1月7日(日)
問合せ先 敢国神社
0595-23-3061



編集後記

2018年、新たな年がスタートしました。今年は2月に韓国平昌(ピョンチャン)で冬季五輪、6月にはロシアでFIFAワールドカップの開幕などスポーツに関するイベントが数多く開催されます。また、今年は成年です。新たな目標を持って、飛躍する年になるといいですね。

【広報誌発行事務局】

編集長	北牧(所長)	
デスク	大西(総務課長)	小谷口(工務課長)
記者	関澤(総務課)	桐山(第二用地課)
	赤尾(調査設計課)	青木(工務課)
	河野(工事課)	佐々木(機械課)

